

2012年9月8日(土)・9日(日)

京都本能寺会館にて開催予定

激動の社会へ新体制後の結束を

平成24年度第八回全国家族支部会が開催。同時に全国家族会・若者の全国大会も開催。西日本大会代表として、京都で全国からのご参加をお待ちしています。大会は予定より1週間早くなりました。全国家族会支部会の案内冊子を作り、支部会同志の繋がりを強め、互いに助け合う家族会の結成を目標に。追ってアンケートをお送りしますので、皆様からの情報提供・ご協力をお願い申し上げます。NPO 法人京都オレンジの会 理事長 稲垣 緑

NPO 法人(内閣府認証)全国引きこもり KHJ 親の会(家族会連合会)代表 池田 佳世 第64号 発行日 平成24年4月1日 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨3-4-4 TEL 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 http://www.khj-h.com

京都オレンジの会

運営15年「パンドラの箱が開いた」

内閣府より「チャイルドユース・サポート章」受賞

パンドラの箱の底に残っている〈希望〉と出会う日を信じて！

オレンジの会を運営して15年が経ちました。ひきこもっていたという若者が居場所集まり、そこで何年ぶりに自分の気持ちを話すことができたり、仲間と飲み会をしたり、作業を通して仕事体験をしたり、近江舞子キャンプ(琵琶湖畔)に行ったり、若者たちは元氣になっていきました。それぞれがそれぞれの心

のエネルギーを得て社会に向かって、旅立った若者もいます。その仲間の中で、「僕は普通の人に見られるからつらいんです。」と心の苦しさを訴える何人かの人がいました。手を何時間も洗い続けたり、歯を磨くとなかなかやめられなかったり、一つ気になるところがあると、何回も確認しなければ気が済まない。不潔を感じれば、手袋をしなければ物を触れない、

思うとおりに物事が進まなければ気が済まない、心がいつもいららしている。これらは、若者たちが私に語ってくれた証言の一つです。本人が言わなければ、なかなか理解できないものがあります。日常生活がうまく立ちいかない強迫性障害と呼ばれることがわかりました。手洗い確認といった目に見える形だけでなく、考え方にこだわりが生まれたり、等、本人の苦しさやまきこまれた家族の心労は想像することができません。しかし、本人たちは言います、「家族の中でも、社会でも、なかなか苦しさは理解されません」

「発達障害」、「適応障害」、「広汎性不安障害」といった言葉が社会で使われるようになり、親は、若者自身は、その名前を受け入れることとまどいました。今、「パンドラの箱」が開かれたのです。これから、行政の福祉サービスが始まると思っています。長い目で見ると、いろんな問題があると思いますが、私は、最後にパンドラの箱の底に残っているという〈希望〉と出会う日があると信じています。



実は、ライフアートを開設してから最近に至るまで、生きづらさを感じる若者がますます増えていきます。強迫性障害でもない、でも、学校に行ってもグループに入れない、仕事先では話す人も

私には何もできない、自分には何もない、そんな気持ちやがて心の負担になり、家から出ることもできなくなり、独りこもるようになった、という訴えを若者から聞くたびに、この「社会への適応出来なさ」はどこからくるのか、と考えていました。うちの子は不器用だな、家では話もするのになぜ学校では、会社ではうまくいかないのだろうか、と考えながら、それでも何とか社会に出て仕事について家庭を持つてきた時代があったのに、そんな生き方が許されない時代がきました。これを私たちは、「見えな

い障害」と呼んでいます。ここ数年、新しい「見えな障害」と次々に出会っています。まるで、不適応に進化しているとしたら、考えられませんか。「発達障害」、「適応障害」、「広汎性不安障害」といった言葉が社会で使われるようになり、親は、若者自身は、その名前を受け入れることとまどいました。今、「パンドラの箱」が開かれたのです。これから、行政の福祉サービスが始まると思っています。長い目で見ると、いろんな問題があると思いますが、私は、最後にパンドラの箱の底に残っているという〈希望〉と出会う日があると信じています。

親の学習会全国展開 池田佳世 全引連理事長



私は2011年の支部長演会に行きました。2月11日、関東で成果を上げた雪灯籠祭りの日、山形の米沢の雪灯籠祭りの日、から提案しました。それにこたえてくれた香川、広島、宮崎、福岡、名古屋、岡山、新潟、え、又来ますと帰り難く雪山形へと学習会継続提案講の街から帰って来ました。今後は、補助金もなく、会の資金もない支部へと行きたいと思えますので、申し込んで下さい。一人でも多くのひきこもりが出てこられるように、熱心な親の会へ行きたいと思えます。親の学習会は、池田の生涯をかけた仕事だと思つて居ります。

「チャイルドユース・サポート章」

京都オレンジの会は、平成22年の、なでしこの会に続いて昨年、内閣府の「チャイルドユース・サポート章」をいただきました。この章の盾は今、若者たちが毎日押すタイムカードの横に置かれています。若者たちがこの京都オレンジの会という一社会のなかで笑顔を取り戻して、もう一度生きなおすことができるように、互いに助け合つて生きる事ができるように、励ましていくれています。





山本博司参議院議員(公明)「福祉関連質問」でKHJ親の会、ひきこもり外来を取り上げ、「ひきこもり」支援について前向きな答弁を引き出した



写真は「山本ひろしホームページ」3月16日アーカイブより

山本議員から制度の狭間で苦しんでいるひきこもり当事者の平均年齢が30歳前後になり、厚生労働省の調査では26万人、内閣府の調査では70万人という深刻な数値が出ている。このような方は制度の谷間にいて支援が届かず困っていることについて国としての対策を問われました。

その問いに対し、中川内閣府特命担当大臣は、ひきこもり問題の深刻さを認めた上で、今後しっかりと対策を立てていくと答弁されました。また、小宮山厚生労働大臣は、厚生労働省、内閣府が現在行っている施策は緒についたばかりであり、効果的支援の中で検討し強化したいと答弁した。

3月16日 参議院予算委員会で公明党の山本博司参議院議員(写真右)は「福祉関連質問」のなかで「ひきこもり」を取り上げ、KHJ親の会、ひきこもり外来について言及。中川正春内閣府特命担当大臣、小宮山洋子厚労相、野田佳彦首相(写真左)から前向きな答弁を引き出した。

続いて山本議員は、KHJJ家族会の名前に言及した上で、さらに唯一のひきこもり支援機関であるひきこもり地域支援センターに言及され、国と自治体が当該センターの設置予算の半分ずつを負担することによる財源の厳しさを指摘し、アウトリーチの不足について追及されました。

これに対し、小宮山厚生労働大臣も、アウトリーチの不足さを認めるとともに、ひきこもり地域支援センターで今年度から訪問を開始したことや、国庫の補助額を増加させたことを述べられるとともに、現状でも補助が不十分であり今後財源確保を内閣の中で検討したいと答弁されました。

さらに、山本議員は、ひきこもり外来で10年間の実績のある精神科医について紹介され、その外来では210名のうち174名が社会参加した実績を紹介し、こうしたひきこもり外来の制度が少ないことについて野田総理大臣に問われた。この問いに対し、野田総理大臣は、ひきこもりの若者の意欲と能力が発揮できないのは社会の損失であり、現在徐々に支援がすすんできたが、こうした中でひきこもりから回復することは分厚い中間層の復活につながるという認識から、厚生労働省での取り組みの強化を後押ししたいと述べられました。

佐川俊郎

総合福祉法への要望

厚生労働省精神・障害保健課長の福田祐典氏、心の健康づくり対策官の荒川亮介氏への総合福祉法(仮称)への要望のための訪問



去る1月17日、衆議院第一会館で初鹿衆議院議員立代表、中垣内副代表、井手萌の会会長、田口けやきの

会代表、他4名が、厚生労働省精神・障害保健課長の福田祐典氏、心の健康づくり対策官の荒川亮介氏へ、総合福祉法(仮称)へのひきこもり状態の当事者救済施策折込の要望、質問、提言、及び意見交換を行った。

また、より具体的に、就労移行支援機関の利用を受けやすい環境の整備、就労移行支援機関がその任務を十分に発揮するための環境整備、就労不可能なまま長期遷延化した重篤者に生存権の保障、支援制度の谷間を失くす包括的支援について質問、及び提言を行った。

長期、高齢化の現状を訴える NINOの健康政策推進議連ヒアリング

超党派の国会議員でつくる「こころの健康推進議員連盟」(会長・石毛えい子衆議院議員)の第1回ヒアリングが2月2日、衆議院第2議員会館で行われた。代表の池田佳世、KHJJ西東京萌の会の井手宏会長が出席。井手会長は、

居並ぶ国会議員、厚生労働省の役人、各団体の前で、「ひきこもりの現状」を訴えた。「機能していない」「ひきこもり地域支援センター」の改善をはじめ、引きこもり認定医制度の設置と専門研修、アウトリーチ医療への評価、引きこもり支援のための人材育成、企業への雇用助成金の配慮などを要望した。また、長期化、高齢化した引きこもりについては、「今後、膨大な数の障害者年金者と生活保護者が生まれ、日本の国自体が成り



た立たなくなるのではないかと。この人たちがいま支えているのは、親や家族だが、親亡き後、国が支えていくとしたら、現在の国会で審議中の消費税は、8%や10%アップ程度の社会保障費では全然足りなくなる。いますぐにでも、国を挙げて、引きこもり問題の解決に取り組んでほしい」と訴えた。古屋範子衆議院議員(公明党)や初鹿明博衆議院議員(主党)から質問があるなど、活発な議論が行われた。

池田佳世



行き詰まり、迷途を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。推薦のことは 精神科医・医学博士 中垣内正和

ルポ「ひきこもり」 価格800円

無料(通信料は自己負担)
引きこもり電話相談
☎ 03-5319-1430
火・木・土 PM1:00~5:00
第4土曜・祭日休み
KHJホットライン

奥山雅久前理事長 一周忌追悼講演会



2012年1月21日に奥山前理事長の一周忌追悼講演会が開催されました。講師は、奥山前代表が最後に入院された帯津病院の帯津良一先生でした。講演を通じて帯津先生の「生」とらえ方は、奥山前理事長の「生かされている」という思いと通じるところがあると感じました。奥山前理事長が、最後に帯津先生を頼られた理由も「生」への思いの共通点にあったのではないかと思います。

とおっしゃられました。だから、悲しくていいんだと。そして次のように述べられました。大切なのはそれ以上の悲しみを与えないこと。そして、悲しみの大地に種をまくことで、そこに「ときめき」が生まれる。「ときめき」が生まれる。その「ときめき」に免疫力が生まれる。しかし、急にはときめかない。だから、ときめきの引き出しをたくさん持つことが大切だと。

思えば、奥山さんは「ときめき」をとて大事にしていた。お酒、たばこ、カラオケ、そして何よりもKHJ親の会の活動が奥山さんの「ときめき」であったと思います。

奥山さんの生涯は確かに悲しみに満ちていたかもしれませんが、思春期に足を切ると、その後も何度も命にかかわる病気を経験し、自身の息子のひきこもりも経験されたのです。多くの人があれば悲しみに打ちひしがれるだけになってしまいませんか。奥山さんはその悲しみの畑に力の限りを尽くして「ときめきの種」を蒔き続け、大きな花が咲く

境 泉洋

帯津先生のお話を伺い、当会が取り組んでいるひきこもりの問題においても、まずはそのままを受け入れ、そこに「ときめきの種」を蒔くことで、長期化、高齢化、膠着化した状況からの穏やかな回復に導かれるのではないかと思います。その生き方は、まさに奥山さんの生き様そのものであったのだと思います。

とちぎ発「親父の会」活動状況

毎月第3水曜日の夜
6時半～8時半
「親父の会学習会」



平成23年6月から11月まで、毎月第3水曜日の夜6時半から8時半までの2時間、6回に亘り「とちぎベリィ会」の「親父の会学習会」を開催しました。

講師は「SCSCカウソセリング研究所」の野中さんと高橋さんにお願ひし、お二人には毎回東京から宇都宮までお越しいただきました。

シリーズテーマを「父親のための引きこもり回復プログラム」、各回のテーマを①「家族の役割を知る」②「問題行動の分析」③「家族のコミュニケーション」④「望ましい行動を増やす方法」⑤「望ましくない行動を減らす方法」⑥「家族自身の生活を豊かにする」ということで実施しました。

今回私が「親父の会」を立ち上げようとしたのは、当事者に対する父親の接し方・役割は非常に重要であるにも拘わらず、どちらかというと母親任せで一歩後ろに下がっている方が多く、あるいは接していても間違った接し方や逆効果な接し方をしてるケース等もあるように感じていたからです。そこでお父さん方にもっと「親の会」等に気軽に参加していただき、一緒に手を携えて行きたいという思いから、立ち上げに至ったものです。「とちぎベリィ会」も発足後九周年を迎えたところですが……まだまだ母親主体で、父親の参加はほんの数えるほど、というのが現状でした。しかし今回の「親父の会」は、参加者の半数以上が父親という今までにない流れになり、最初は参加人数や運営等どうなるかと心配しましたが、毎回思ったより多くの皆さんが、とても熱心に受講して下さいました。「親父の会学習会」最終日に、講師の方から皆さんにあるお父さんからは「この会に出るようになってから、息子とのコミュニケーションが少しづつ取れるようになってきた」とか、また何人かのお父さんからは「これで終わりにせず、次回も是非参加したいので、また次の企画を考えてほしい」という注文をいただいたり、うれしい反面責任が重くなったと思います。

まだまだ「親父の会」としては歩き始めたばかりですが、「KHJ本部及びSCSCカウソセリング研究所」等のお力をお借りしながら、一歩一歩着実に歩みを進めて行きたいと考えています。とちぎベリィ会副理事長(同親父の会会長) 阿久津久雄



一周忌追悼講演会の帯津良一先生

帯津先生は講演の冒頭、人間の本质は悲しみである

帯津先生のお話を伺い、当会が取り組んでいるひきこもりの問題においても、まずはそのままを受け入れ、そこに「ときめきの種」を蒔くことで、長期化、高齢化、膠着化した状況からの穏やかな回復に導かれるのではないかと思います。その生き方は、まさに奥山さんの生き様そのものであったのだと思います。

不登校・ひきこもりの方も安心

教育理念『1/1の教育』
全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。

生徒第一...だから

生徒1人1人と向き合う
「1/1の教育」で生徒の自信と意欲を養います。

通信制高校(広域通信・単位制)

第一学院高等学校

4月よりウィザス高等学校・ウィザス ナビ高等学校から学校名を変更し、生まれ変わりました

TEL 0120-761-080 www.daiichigakuin.ed.jp

全国76キャンパス(平成24年3月現在)

社会不安障害総合情報サイト

SADとは「Social Anxiety Disorder」の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことです。

SAD NET

人前で話したり、食べたり、書いたりしようとする、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

・おおよそのSAD(社会不安障害)をチェック可
・どこへ行けば治療して貰えるの?
全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

社会不安障害の総合情報サイト
URL: http://www.sad-net.jp/

教育理念『1/1の教育』
全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。

不登校・ひきこもりの方も安心

生徒第一...だから

高認・大学受験予備校
通学科 通信科

4月より第一高等学校から学校名を変更し、生まれ変わりました

第一学院

TEL 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

全引連KHJ本部(全国)

連絡先(東京):〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 SCS カウンセリング研究所内 ☎03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 携帯080-1023-3857 池田 佳世
連絡先(埼玉):〒331-0805 埼玉県さいたま市北区盆栽町190-3 NPO 法人KHJ 埼玉けやきの会家族会内 ☎&FAX 048-651-7353 携帯080-3176-6674 田口ゆりえ

月例会に参加して気を楽しみたい情報交換しませんか

☆親の会(月例会) 問い合わせ先(2012年3月31日現在)

東北・北海道

- KHJ北海道「はまなす」 吉田 勇
〒064-0824 札幌市中央区北四条西26丁目3-2
携帯090-3890-7048 TEL・FAX 011-631-0981
- NPO法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会
〒020-0873 盛岡市松尾町19-8 TEL 019-605- 泉 勝夫
8632 FAX 019-605-8633
- KHJ青森県「アップルの会」 川村克彦
〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西5-9-
1634 サハハウス内 TEL/FAX 0178-88-5297
- 秋田県「かだれ会」 長信田の 森心療カ
〒018-2303 秋田県山本郡山本町森丘字石倉沢
1-2 TEL 0185-72-4133 FAX 0185-72-4134
- NPO法人KHJ宮城県「タオ」 武田和浩
〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18 TEL 0228-
58-4755 FAX 0228-58-4756 携帯080-3193-
- NPO法人山形県「から・ころセンター」 伊藤正俊
〒992-0026 米沢市東2-8-116 TEL/FAX 0238-21-6436

関東ブロック

- KHJ東東京「楽の会」 FAX 03-3918-7873 池田佳世
〒170-0002 豊島区巣鴨3-4-4 TEL 03-3918-0655
- KHJ西東京「萌の会」 携帯090-8452-8810 井手 宏
〒167-0051 杉並区荻窪1-19-4 TEL/FAX 03-5397-5372
- NPO法人KHJ埼玉けやきの会家族会 田口ゆりえ
〒331-0805 さいたま市北区盆栽町190-3
TEL・FAX 048-651-7353 携帯080-3176-6674
- NPO法人KHJ千葉県なの花会 藤江幹子
〒260-0042 千葉市中央区椿森1-2-2志村荘201
TEL 090-8491-0971
- KHJ神奈川県「虹の会」 安田賢二
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 12階ボ
ンテイセンター気付No.② 携帯080-2107-1171
- NPO法人KHJ栃木県「ベリー会」 齋藤三枝子
〒329-1105 宇都宮市中岡本町4077
FAX 028-673-2518 TEL 090-1846-4004
- いばらきKHJ「白梅の会」 菊地芳明
〒300-2742 常総市向石下939-21 (for you教育相
談室内) TEL/FAX 0297-42-7751 携帯090-5416-
- グループコスモス TEL/FAX 03-3728-4488 瓜生 武
〒145-0066 東京都大田区南雪谷2-11-5 携帯080-3255-4361

東海ブロック

- KHJ静岡県「いっぶく会」 上杉博美
〒420-0884 静岡市葵区大岩本町25-2 携帯090-
5036-2552 TEL・FAX 054-245-0766
- NPO法人なでしこの会 大脇正徳
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-7-2桜華会館
内 携帯090-8185-6597 TEL・FAX 052-222-
- NPO法人名古屋オレンジの会 鈴木美登里
〒453-0015 名古屋市中村区椿町19-7 杉マンショ
ン椿町304 TEL・FAX 052-459-5116

北陸ブロック

- NPO法人KHJにいがた「秋桜の会」 三膳克弥
〒950-0167 新潟市江南区五月町1-2-9
携帯090-4017-2889 TEL/FAX 025-382-6912
- KHJ北陸会 事務局
〒924-0024 石川県白山市北安田町5331
携帯090-8092-1097TEL/FAX 076-275-6481
- とやま大地の会 TEL 090-3768-1733・FAX 076-429-5886
〒939-2455 富山市八尾町大玉生秋「野良里」内井波純子

本部 連絡先

- NPO法人 全国引きこもりKHJ親の会 池田佳世
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4
TEL 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290

近畿ブロック

- NPO法人 京都オレンジの会 稲垣 緑
〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東分木町74-
3 東山三条ライステーション TEL/FAX 075-752-0289
- NPO法人大阪虹の会 TEL/FAX 072-265-2021 原 治子
〒592-0011 高石市加茂1-20-2 グリーンモール高石1F
- NPO法人KHJ「つばさの会大阪」 大塚 洋
〒573-0027 枚方市大垣内町1-3-1マインドビル4F
携帯090-4308-4259 TEL 072-844-2423
- NPO法人神戸オレンジの会 TEL 078-515-806 藤本圭光
〒652-0805 兵庫県神戸市兵庫区羽坂通4-2-22
- 情報センターふきのとう姫路 櫛橋行雄
〒670-0896 兵庫県姫路市上大野1-11-6
TEL/FAX 079-224-5259 携帯090-5046-7134
- NPO法人情報センターISIS大阪 岡村 勝
〒573-0061 枚方市伊加賀寿町1-1パークロード有
馬201号 TEL 072-844-0399

中国ブロック

- KHJ岡山きびの会 TEL/FAX 086-264-5183 萩尾寛江
〒700-0944 岡山市南区泉田56-5 萩尾事務所内
- KHJ広島もみじの会 岡本 弘
〒731-5137 広島市佐伯区美の里2-1-39-801
携帯090-7375-6659 TEL/FAX 082-924-2922
- KHJ山口県「きらら会」 小林 攻
〒756-0862 山陽小野田市須恵西2471-1
TEL/FAX 0836-88-2681

四国ブロック

- NPO法人KHJ香川県オーリーブの会 川井富枝
〒761-0104 高松市高松町2574-9
TEL・FAX 087-843-9877 携帯090-4332-3288
- KHJ徳島県「つばめの会」 高橋浩爾
〒776-0014 吉野川市鴨島町知恵島372-6
携帯090-7620-4625 TEL/FAX 0883-24-0507
- KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会 竹中あおい
〒781-5205 香南市野市町みどり野東1-33
TEL・FAX 0887-55-1255

- KHJ愛媛県こまどりの会 携帯090-8972-4587 渡部浩二
〒791-0216 東温市野田2-10-35 TEL・FAX 089-964-4558

九州・沖縄

- KHJ福岡県「楠の会」 吉村文恵
〒810-0003 福岡市中央区春吉1-7-18 タウビル
1F 携帯090-8222-7403 TEL 092-731-3091
- KHJ熊本県「楠の会」 TEL 096-322-3548 武井敬蔵
〒860-0072 熊本市花園7-2435-12 FAX 096-322-3787
- KHJみやざき「楠の会」 植田美紀子
〒880-0944 宮崎市江南4-9-9 植田方
携帯090-9603-8780 TEL/FAX 0985-53-2666
- KHJ鹿児島県「楠の会」 福留順一
〒891-0704 南九州市穎娃町別府1243
自宅TEL 0993-38-1421 TEL/FAX 0993-38-0320
- NPO法人KHJ大分県「大分ステップの会」 松本太郎
〒879-5102 由布市湯布院町川上3604-14 TEL 090-1163-85
- サポートセンターゆめさき 上江田
〒904-2171 沖縄県沖縄市高原7-34-29 紫寿江
TEL 098-930-1150